

韓国における大学周辺の単身者向け集合住宅の立地特性

洪, 銅基

<https://doi.org/10.15017/4059967>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	洪 銅基			
論文名	韓国における大学周辺の単身者向け集合住宅の立地特性			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	坂井 猛
	副査	九州大学	教授	趙 世晨
	副査	九州大学	准教授	プラサンナ ディビガルピティヤ
	副査	佐賀大学	教授	有馬 隆文

論文審査の結果の要旨

本論文は、韓国の単身者向け集合住宅に関連する法制度の変遷と、公共が担った住宅供給を民間に移してきた過程を明らかにしうえて、ソウル市における単身世帯は、副都心を含む外周部で密集度が高いことを示し、2013年までの5年間の単身者向け集合住宅の許認可データ4,628件の6分類に基づき、単身者向け集合住宅は、主に人口要因と交通及び便利施設要因に影響を受け、ワンルーム型が都心や副都心の総合大学、総合病院、大型商業施設の立地する地域に多く供給されていることを把握した。さらに、4年制以上の大学を25グループにまとめたうえで、都市型生活住宅のカーネル密度分析により4分類し、高密連続型は大学最寄りの地下鉄駅を中心とする地域に多いなどの立地特性を明らかにするとともに、商業や業務施設の混合用途が抱える駐車場等の環境整備に関する基準制定や、大学寮の運営の多様化に関する重要な指摘を行っており、都市計画学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。